

MABATO

～ フィリピン・マバト地区との交流 ～



4年ぶり!

Youth Study-tour in Philippines

フィリピン・ユース・スタディ・ツアー参加者募集!

2024.2.1(木)～2.9(金)

お待ち
しました!

困難を抱えつつも、神と共に生き、喜んで世に仕えておられるフィリピンの教会を訪問します!

【ツアースケジュール】

- 1日目 12:45 福岡空港 (国際線) 集合→フィリピンへ サンバレス州へ移動・深夜着
- 2日目 (午前) サン・マルセリーノ市場散策 (午後) マバト地区・伝道所訪問&交流
- 3日目 (全日) ピントラン地区・伝道所訪問&交流
- 4日目 (午前) サン・アントニオ教会の礼拝出席 (午後) 青年たちとの交流+海辺へ
- 5日目 (全日) オロンガポで現場研修
- 6日目 マニラへ移動 (午後) ピープルパワー歴史記念館見学
- 7日目 (午前) トンド福音教会&幼児施設訪問 (貧困スラム街) (午後) BATIS 女性センター訪問
- 8日目 (午前) イントラムノス見学 (午後) ショッピング・自由
- 9日目 マニラ発→14:15 福岡空港 (国際線) 到着・解散

*毎日夕方に、参加者とリフレクション (ふりかえり) をします。今回はゆったりスケジュールです。



【宿泊地】(前半5泊) マニラから車で4時間。サンバレス州 サン・マルセリーノにある故菅原マグダレナさん宅に宿泊。(後半3泊 マニラ都市部のホテル)

【フィリピン国内での移動手段】 運転手付きレンタカー、トライシクル、水牛カート、タクシーなど

*1月中に、[オンライン「事前学習会&オリエンテーション」](#)を予定しています。

【参加費】11万円

(内訳: 飛行機代 55,000円 + 宿泊費 20,000円 + 運転手付きレンタカー代 15,000円 + 食費 20,000円)

【申し込み】 宣教協力部門委員長・戸田奈都子 ([川内教会 sendai-nozomi@festa.ocn.ne.jp](mailto:sendai-nozomi@festa.ocn.ne.jp))

高校生は保護者の同意書が必要です。

飛行機を予約しますのでパスポートをご準備ください。海外旅行保険などは、各自で加入してください。

マバト“開拓”伝道 & アエタ先住少数民族 生活支援

フィリピン・サンバレス州マバト地区は、1990年のピナツボ火山大噴火によって田畑や家屋が火山灰で埋まってしまい避難生活・仮住まいをしていたアエタ（先住・少数）民族が1997年に移住・定住した地域で、現在40の大家族が住んでいる。残念ながら教育への関心はそれほどなく、多くの子どもたちが13～16才で結婚・出産。収入は主に木炭作り・漁業・狩り・イロカノ民族が所有する田畑での日雇い労働等に就いている。食料・生活必需品・薬などは慢性的に足りていない。



フィリピン合同教会(UCCP)は、宣教方策【教会の立つ地域の人々の生活が豊かになるために奉仕する】に基づいて、2013年より一番近い町サン・アントニオ教会(車で1時間)のシャル・ガボンリー牧師夫妻が“開拓”伝道を開始。月に2回ほど、こどもの礼拝やおとなのためのバイブルスタディなどを行い、炊き出しや教育支援が行われている。

特に、コロナ・パンデミックの間は、食糧が尽きて危機的状況となり、サン・アントニオ教会は、近隣の教会、他教派の教会に呼びかけて、アエタの人々の集落に食糧を届け続けた。九州教区も緊急支援献金を送り、お米・食糧・油などを購入して頂いた。

九州教区は、2016年、サン・アントニオ教会より、この奉仕活動への支援依頼を受け、「マバト献金」として教区内外に呼びかけています。多くの教会・信徒のみなさん・幼稚園などの付帯施設より献げられた尊い献金を、年に数回、「マバト」やその他、UCCPの教会が仕えている支援活動に送金しています。

クリスマス
をおぼえて

マバト献金のお願い

(フィリピン宣教協力献金 ～最も貧しい地域に仕えるフィリピン教会のために～)

毎月500円献金・クリスマス献金へのご協力をお願いいたします。

振替用紙にてご送金ください。個人のお名前で献金して下さる方もおられると思います。教会のご担当者様は、お手数ですが振替用紙の通信欄に「①献金者の所属教会、②お名前、③献金額」を記してください。できれば年間分をまとめてご送金ください。

振替口座 01750-5-167590 宣教協力部門委員会

送金先:サン・アントニオ教会、パオ伝道所(シャル・ガボンリー牧師)、トンド福音教会、バティス女性センターなど

Living is Sharing

生きることは分かち合うこと

